

釧路商工会議所報

第1371号
釧路商工会議所
釧路市大町1丁目1番1
電話代表41-4141
編集兼発行人
川村 修一
印刷 釧路新聞社

道ブロック大会を開催

日本YEG 25年振り釧路に集う

日本商工会議所青年部の『第37回北海道ブロック大会釧路大会』が9月27日（金）、28日（土）に釧路市内で25年振りに開催された。北海道商工本所青年部連合会の共催、釧路商工会議所青年部の主催で行われ、全国各地の青年部の会員やOB・OGら約700人が集まった。

次代の地域経済を担う青年経済人により組織される道ブロック大会は、企業発展と豊かな地域社会を築くための研究・研鑽を目的にブロック大会を開催している。日本YEGの3大事業の一つである本大会は、全国9つのエリアごとに実施し、研修と事業の成果について情報交換を行うと共に、会員相互の交流・連携の輪を拓けている。



28日に行われた記念式典

道ブロック大会は、先人たちが築いてきた歴史を学ぶとともに、釧路の「食、自然、観光」などの魅力に触れてもらいたいという想いを込め、『寛古考新くしろのちから』をテーマに行われた。大会当日は、27日に北海道YEG連合会代表役員会などの会議や前泊者懇親会、28日にはメインプログラムの記念式典が釧路市生

涯学習センターで実施された。式典の主催者あいさつで、日本YEGの尾越亮介（釧路YEG）はこの大会でしか体験できない「釧路」が多くある。それらを皆さまで地域に持ち帰っていただきたい」と呼び掛けた。日本YEGの吉川裕太会長（秋田YEG）は「全国の仲間とともに未来を見据え、これからのYEGの姿をしっかりとつくり上げていきたい」とあいさつ。田野草之介大会会長は「北海道の礎を築いた開拓者の精神を継承しながら、未来を切り拓くための大会にしたい」と想いを語った。

続いて、開催地商工会議所として栗林定正所会頭があいさつしたのち、来賓より祝辞が述べられた。また、令和7年度北海道



式典で行われたブロック旗伝達式

ブロック大会の開催地が稚内となることを発表し、ブロック旗を伝達した。その後、次回開催地や全国会長研修会、全国大会を主催するYEGが開催地PRを行った。式典後には、スポーツ振興による地域活性化に向けた記念講演や、石炭産業について学ぶ釧路・コルムインの施設見学、温泉・ノロコ号乗車体験、釧路港クルージングなど6コースに分かれて分科会を実施。夜には大懇親会も開催され、参加者は交流を深めることもに釧路の食や産業、文化に触れ知見を広げた。

業界の懸案事項訴え

建設部会 釧路市、議会へ要望

当所建設部会（坂野賢孝部会長）では9月30日（月）午後3時より釧路市役所庁舎内で、釧路市に対して公共事業の確保と発注に関する要望を行った。

本要望書は、社会インフラ整備や除雪作業等による市民生活の維持、災害時の復旧・支援活動を行うなど地域に欠かせない役割を担う建設業界の安定した経営維持を目的として例年実施している。

当日は、蝦名大也市長と

煙中優周市議会議長、市幹部職員、当部会の正副部会長や評議員ら約30人が参加した。

はじめに、坂野部会長より蝦名市長、煙中議長へ要望書を主交した。坂野部会長は、当業界は地域住民の命と安全を守る役割を担う「守り手」。業界が抱える課題解決に向けて支援をお願いしたい」とあいさつ。続いて、濱谷美津男副部会長が要望内容の詳細を説明。公共インフラの老朽化対策や4月から施行された働き方改革関連法に伴う労働時間短縮の必要性を訴えた。

要望を受けて、蝦名市長は「社会インフラは市民生活を支えるとともに経済活動を循環させる効果を生む。しっかりと整備を進めたい」と述べた。特に懸念されている地震による津波の対応について、頻度の高い津波には防



要望書を手交する煙中議長、坂野部会長、蝦名市長（左から）

波堤などのインフラ整備で対応し、最大クラスの津波に対しては命を守るために避難することを軸に避難場所を確保するよう進めていることを説明。また、煙中議長は「要望書は議会でも共有し、しっかりと検討したい」と回答を述べた。その後、蝦名市長や煙中議長と意見交換を行い、業界の現状や課題について情報を共有した。

申込締切 10/22 eco検定 福祉住環境コーディネーター検定 ネット試験（試験期間11/15～12/5）の申込を受付中です。詳細は東京商工会議所検定サイト(QR)をご覧ください。

無担保・無保証人 マル経融資のご案内 融資限度額 → 2,000万円 融 資 利 率 → 1.35%（令和6年10月1日現在） 詳細は当所地域振興部 0154-41-4143 へ

年末調整における定額減税事務 個別相談会 開催のお知らせ

日時：11月6日（水）・20日（水） 14:00～16:00
会場：釧路税務署 7階会議室（釧路市幸町10-3 釧路地方合同庁舎）
定員：各日15名 ※電話での事前予約が必要です。
【予約期限】開催日前日17時まで
【連絡先】釧路税務署 法人課税第一部門 TEL:0154-31-5152

年末調整がよくわかるページ

年末調整事務の詳細については、国税庁HPの「年末調整がよくわかるページ」（右記QR）に掲載しています。ぜひご利用ください。



“自社らしさ”を深掘り

販路拡大・ブランディング学ぶ 磨き上げ研究会



ブランディングについて学んだ研修会

当所は釧路市、釧路信用金庫と共催し『販路拡大・磨き上げ研究会』の第1回研修会を9日（水）道東経済センタービルで開催し、市内の食品加工事業者を中心に約20人が参加した。本事業は平成28年度から毎年実施しており、今回は選ばれた商品・事業者とな

るための商品開発・磨き上げと、自社らしさを追求したブランディングを4回にわたる研修会で学ぶほか、個別相談会、商談会を通じて販路拡大を目指す。メイン講師には、初年度から事業に携わる株式会社ナガリ総合研究所の稲葉潤一代表取締役と新たに株式会社Bespokeの長田敏希代表取締役CEO、針谷誠見執行役員を迎えた。

9日は「自社らしさを作り込むためのステップ理解と自社の強みの深堀」をテーマに実施。針谷氏がブランディングの基礎を解説した後、ゲスト講師として株式会社稲庭うどん小川（秋田県湯沢市）の小川選手専務取締役が講演した。同社は長田氏らの支援を受けてブラン

お役立ちセミナーのご案内

外国人材セミナー
外国人労働者の雇用と労務管理の留意点
外国人労働者を雇用されている方や「新たに雇いたい」とお考えの方、関心をお持ちの事業者、サポートされる土業の方々向けにセミナーを開催します。
日時 10月24日（木） 15:00～17:00
会場 釧路センチュリーキャッスルホテル 3階 孔雀の間（釧路市大川町2-5）
定員 50名 ※先着順
申込 電話、FAX、インターネット ※受付締切10月18日（金）
講師 社労士オフィスオリオン 代表 長田 高幸 氏
主なセミナー内容
・技能実習生制度の今後と新しい育成就業制度
・外国人の採用・雇用への不安を減らすには
・外国人労働者を雇用する際の労務管理
・外国人ならではのトラブルとその対策



経営分析の取り組み方と 事業（経営）計画書の作成・活用講座
事業計画書は自社の経営状況や強み、市場環境の変化などを把握し、経営の方向性を明確にするための羅針盤であり、補助金申請でも欠かせないものです。本セミナーでは、初めての方でも取り組みやすい入門編の経営分析の手法と事業計画書の作り方を伝授します。
日時 11月6日（水）・12日（火） 14:30～17:00 ※全2日間の講座です ※各日も終了後に個別相談会を実施（希望者のみ）
会場 道東経済センタービル 3階 会議室（釧路市大町1-1-1）
定員 50名 ※先着順
申込 電話、FAX、インターネット
講師 ㈱ケーティーズ 代表取締役（中小企業診断士） 粕谷 智和 氏
内容
・経営分析の進め方
・持続化補助金フォーマットの活用
・事業計画書をつくる
・計画書を活かす派生利用 等



【お問合せ】当所地域振興部 TEL 0154-41-4143